

拝啓、初秋の候益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度 Art-U room では、フィンランドのアーティスト、アヌ・トゥオミネンを迎え、当ギャラリーでの 3 回目となる個展を開催する運びとなりました。つきましては皆さまに広くご高覧、ご宣伝頂けますようここにご案内申し上げます。

アヌ・トゥオミネン「レクリエーション」

「花柄模様のハンカチに、小さな青い水平線のステッチを縫おう。垂直に緑のステッチを縫おう。春の訪れと草々。金色の糸で、青い湖の上に太陽の光線を縫おう。」

(アヌ・トゥオミネン著「Thinkables」より)

アヌ・トゥオミネンは、台所用品や文具など身近な道具や素材を取り上げ、これらに編む、切る、並べるといったシンプルな手法で加工を施すことにより作品作りを行なっています。ビーズのように短く削った鉛筆を連ねてネックレスとしたり、使い古された手袋を互いに縫い合わせて器や小動物に変身させたりと、手芸的な要素を多分に含む彼女の作品には、コンセプチュアルな発想を起点としながらも、どこか温もりが感じられ、しばしば思わず吹き出さずにはいられないようなユーモアが隠されています。物それぞれがもつ形態や機能、素材の性質や色合いなどを仔細に観察分析し、新たな解釈を与えて、元のままでありながら「別のもの」として再生するトゥオミネンの作品は、まるで連想ゲームのように観る者にも限らないイメージの連鎖を呼び起こすのです。

多くの反響を呼んだ 2006 年の「キッチン」、昨年の「森の住人」に引き続き開催する今回の個展「レクリエーション」では、過去の作品より最新作まで多岐にわたるアヌ・トゥオミネンのクリエイションを包括的に紹介します。古びたために打ち捨てられたモノ、蚤の市で集められたモノ、そうしたモノたちに優しく注意深いまなざしを向け、観る者の心に驚きや歓びをもたらすアート作品として再生させるトゥオミネン流の錬金術をお楽しみ下さい。

■ アヌ・トゥオミネン (Anu TUOMINEN) プロフィール

1961 年フィンランド生まれ。ヘルシンキの芸術デザイン大学にて家具デザインを、次いで芸術アカデミーにてメディア研究を修め、在学中の 1989 年より個展やグループ展にて作品を発表し始める。2003 年に、視覚芸術の分野において秀でたフィンランド人アーティストに贈られる Ars Fennica 財団の年間最優秀アーティスト賞を受賞。近年はヨーロッパを中心に、フィンランド内外で数多くの個展やグループ展に出展。アート界のみならず、デザインやクラフトの分野からも熱い注目を集めている。

展覧会概要

アヌ・トゥオミネン「レクリエーション」

Anu Tuominen: Recreation

会 期：2009 年 10 月 30 日 (金)～11 月 22 日 (日)

火 - 土 12:00-19:00 日曜 12:00-17:00 / 月休

会 場：Art-U room 渋谷区神宮前 5-51-3 ガレリア 3F

Tel. 03-5467-3938 / Mail artuinfo@abox23.so-net.ne.jp

URL www.art-u-room.com

後 援：フィンランドセンター

協 力：Chip the Paint

- ・展覧会内容や画像データのお問い合わせ、取材のお申込み等は、上記電話またはメール宛にご連絡下さい。
- ・10 月 30 日 (金) 18:00-20:00、作家を立ち会いのもとオープニングレセプションを予定しています。
- ・当展は TOKYO DESIGNERS WEEK 2009 (10/30～11/3 開催) 内 SHOP EXHIBITION に参加しています。



「純粋な色彩 - Pure Colours」2001 年
糸をほどかれた靴下



「絵はがきの彫刻 - Postcard Sculpture」2003 年
ポストカードに切り抜き、折り



「雪のレース、光の真珠、テーブル上のクリーム - Lace of Snow, Pearls of Light, Cream on Tables」2009 年
マグカップ他、かぎ針編みで編まれた糸